

# STEP5 プレゼンテーションに動きを設定しよう

## 1 画面切り替え効果の設定

「画面切り替え効果」を設定すると、スライドショーでスライドが切り替わる時に変化を付けることができます。モザイク状に徐々に切り替える、扉が中央から開くように切り替える、回転しながら切り替えるなど、様々な切り替えが可能です。画面切り替え効果は、スライドごとに異なる効果を設定したり、すべてのスライドに同じ効果を設定したりできます。

スライド1に「ギャラリー」の画面切り替え効果を設定しましょう。次に、同じ画面切り替え効果をすべてのスライドに適用しましょう。



フォルダー「プレゼンテーション編」のプレゼンテーション「特殊効果の設定」を開いておきましょう。

- ① スライド1を選択します。
- ② 《画面切り替え》タブ→《画面切り替え》グループの  (その他) → 《はなやか》の《ギャラリー》をクリックします。



- ③ スライド1に画面切り替え効果が設定されます。  
※サムネイルペインのスライド1に★が表示されていることを確認しておきましょう。
- ④ 《画面切り替え》タブ→《タイミング》グループの  (すべてに適用) (すべてに適用) をクリックします。



- ⑤ すべてのスライドに画面切り替え効果が設定されます。  
※サムネイルペインのすべてのスライドに★が表示されていることを確認しておきましょう。  
※スライドショーを実行して、画面切り替え効果を確認しておきましょう。



## 効果のオプションの設定

画面切り替え効果の種類によっては、動きをアレンジできるものがあります。効果のオプションを設定する方法は、次のとおりです。

◆《画面切り替え》タブ→《画面切り替え》グループの  (効果のオプション)

### More 画面切り替え効果の解除

設定した画面切り替え効果を解除する方法は、次のとおりです。

◆スライドを選択→《画面切り替え》タブ→《画面切り替え》グループの  (その他) →《シンプル》の《なし》

※すべてのスライドの画面切り替え効果を解除するには、《なし》を適用後、《画面切り替え》タブ→《タイミング》グループの  (すべてに適用) (すべてに適用) をクリックします。

## 2 アニメーションの設定

「アニメーション」とは、スライド上のタイトルや箇条書きテキスト、画像などのオブジェクトに対して、動きを付ける効果のことです。波を打つように揺らす、ピカピカと点滅させる、徐々に拡大するなど、様々なアニメーションが用意されています。アニメーションを使うと、重要な箇所が強調され、見る人の注目を集めることができます。

### ▶▶1 アニメーションの設定

アニメーションは、対象のオブジェクトを選択してから設定します。

スライド2に作成した図形が表示される時のアニメーションとして、「ワイプ」を設定しましょう。

- ① スライド2を選択します。
- ② 図形を選択します。
- ③ 《アニメーション》タブ→《アニメーション》グループの  (その他) →《開始》の《ワイプ》をクリックします。

